

# よっちゃんばる通信

No.1

笛吹市 市民活動・地域づくり情報紙

平成 21 年 12 月発行

## 笛吹市を暮らしやすい地域にするために

笛吹市は、10月12日に市制施行5周年を迎えました。

石和、御坂、一宮、八代、境川、春日居、芦川の7つの地域が、

笛吹市を故郷として愛<sup>いっく</sup>しみ、誇りに思えるようにとの思いを込めた第1次笛吹市総合計画「ふえふき協奏曲第1番」を策定して、笛吹市の将来像である「みんなで奏でる“にぎわい・やすらぎ・きらめき”のハーモニー」を実現するための取り組みを始めています。

今後の社会情勢の変化は、笛吹市においても地域社会や生活環境に影響を及ぼすことが予想されますが、行政と市民のパートナーシップによる協働のまちづくりこそが、真に暮らしやすい地域を実現し、笛吹市の将来を支えてくれるものだと思うのです。

市役所の持つ機能、情報をできる限り市民の皆様にご公開して対等な関係を作ると共に、市民の皆様が参加しやすく、活動のエネルギーを協働のエネルギーに換える仕組みを創ってまいりたいと考えています。

平成19年度より実施している地域振興促進助成事業は、市民の皆様が自発的な社会貢献活動を自主的に進めていただくためのきっかけ作りを支援するものです。助成事業の取り組みを通じて市民活動団体が市民や行政と向き合い、一緒になって真剣に地域のことを考える姿にパートナーシップの重要性や市民の皆様のごエネルギーを強く感じております。これからも市民の皆様と行政との協働の取り組みが数多く実現し、積極的な市民活動と市民のネットワークによる地域づくりが進められますよう期待しております。



笛吹市長 荻野正直

## 地域振興促進助成事業実績報告会

平成20年度に助成した事業の報告会を開催しました。



平成20年度に地域振興促進助成事業を活用した事業は、様々な分野で実施され25団体（25事業）ありました。

8月7日（金）石和スコレーセンター集会室において、それぞれの団体から資料提示や事業内容の発表が行われました。

市民の皆さんの地域貢献や地域づくりにかける熱い思いが伝えられました。（各団体の実績は次ページから）

## 【発表団体】



団体名	ふれあいボランティア (一宮)
説明者	山口正昭 (代表者)
助成事業	ふれあいポート設置事業
助成金額	253,000円 (助成割合50%)
<p>地域ボランティアと学校が協働してスクールガードを実施している。</p> <p>活動継続への環境整備として、ボランティア作業により「ふれあいポート」を整備した。</p>	



ボランティア作業  
で完成した  
「ふれあい  
ポート」



団体名	春日居中輪菊愛好会 (春日居)
説明者	丸山 茂 (事務局)
助成事業	春日居町菊の散歩道
助成金額	233,730円 (助成割合69%)
<p>中輪菊の愛好者により、春日居地内の自宅庭先などに菊を展示し、市内外の見学者をもてなした。</p> <p>ガイドマップや目印の幟旗を作成すると共に、中輪菊苗の配布や講習を開催した。</p>	







団体名	春日居町熊野堂下区 (春日居)
説明者	小川 進 (保存会)
助成事業	熊野堂囃子保存事業
助成金額	208,012円 (助成割合70%)
<p>地域の伝統芸能である「熊野堂囃子」を保存継承するため子ども達への伝承を行なっている。</p> <p>囃子で使用する楽器が老朽化して不足しているため、修繕、購入を行なった。</p>	



団体名	NPO 法人 HappySpace ゆうゆうゆう (石和)
説明者	星合美紀 (代表者)
助成事業	中学生パパママ体験講座
助成金額	680,000円 (助成割合70%)
<p>石和中学校との協働による中学生を対象とした子育て体験講座を実施した。</p> <p>子育て中の親による「抱っこ sase 隊」を募集し、中学生に乳幼児に直接触れ合う体験を実施した。</p>	



平成20年度富岡市地域振興促進助成事業

## 「抱っこsase隊」募集中

ママ達でつくる「抱っこ sase 隊」に入隊しませんか？  
中学生パパ・ママ体験講座に親子で突撃しよう！！

〈日程〉平成20年7月・8月・10月・1月予定  
いずれも午前中(全9回)  
全都合のつく時だけでOKです！

〈場所〉スロリーセンター等公共施設・市内中学校

〈内容〉抱っこ体験の協力  
生徒と一緒にわらべうた、親子あそびをする

〈対象〉親子、生後2ヶ月〜1歳までのお子さんとママ 30組  
現在妊娠中の方、大歓迎です！

〈申し込み〉NPO 法人 Happy Space ゆうゆうゆう (〒470-0101)  
☎055-261-0218

現代はママになるまで、赤ちゃんに勝れたことがない人も割多いです。  
将来、親になる子どもたちのためにわたしたち大人ができることってなんだろう？



団体名	一宮町上矢作区 (一宮)
説明者	小池善彦 (区長)
助成事業	上矢作地域のひとづくりに資する事業
助成金額	179,970円 (助成割合41%)
<p>住民への防災意識向上と地域防災対策への取り組みを実施した。(助成2年目)</p> <p>災害防災館での災害シミュレーション体験の実施と地域防災ガイドブックを作成した。</p>	



防災館での暴風雨体験



団体名	下黒駒朝市遊歩道推進会 (御坂)
説明者	小林則嗣 (代表者)
助成事業	下黒駒朝市遊歩道推進事業
助成金額	91,499円 (助成割合70%)
<p>地域内を流れる馬場川の管理用道路が荒廃していることから、これを整備して地域資源と指定化していくための取り組み。河川周辺の整備、管理により道路を復元した。</p>	







団体名	一宮町小城区 (一宮)
説明者	荻原忠敬 (区長)
助成事業	小城区の歌作成事業
助成金額	50,000円 (小額助成上限)
<p>住民の地域への愛着と一体感の助成のために地区の愛唱歌を作成した。</p> <p>住民からの歌詞募集と地元出身者の協力により、「わが里 小城」を作成、地域イベントで活用。</p>	



団体名	笛吹ローズクラブ (石和)
説明者	須田和美 (代表者)
助成事業	薔薇による景観づくり事業
助成金額	256,900円 (助成割合64%)
<p>駅前広場の薔薇の管理を行い、合わせて薔薇の愛好者育成を行った。</p> <p>薔薇の育成講習、ポプリ作り講習、駅前広場の薔薇育成管理を実施した。</p>	





団体名	えこふく (八代)
説明者	石田萬法 (代表者)
助成事業	菜の花プロジェクト事業
助成金額	107,229円 (助成割合70%)

地球温暖化防止に向け、菜の花栽培～BDF 燃料化を実践した。  
遊休農地を借り受け (一部文化財課と協働) 菜の花を栽培するための、耕作作業を実施した。



団体名	笛吹市サッカー協会 (石和)
説明者	内田利樹 (事務局)
助成事業	笛吹市サッカーファミリープロジェクト事業
助成金額	471,000円 (助成割合69%)

サッカーを通じたスポーツ啓発、青少年育成事業を実施した。  
清雲栄純氏講演会、少年少女サッカー教室、PAMA さんリーグ、マスター大会を開催した。



少年少女サッカー教室



PAMA さんリーグ



## 【資料展示団体】

団体名	ボランティアガイド笛吹 (一宮)	代表者	古屋昭一
助成事業	甲斐の国千年の都、笛吹市旧跡ガイド	助成金額	126,000 円 (助成割合 67%)
	市内旧跡ガイドの実施とガイドボランティアの育成を行なった。(助成 2 年目) ガイドに必要な備品等の購入と研修経費。		



団体名	春日居国府第 3 区 (春日居)	代表者	内藤博仁 (H20 年度区長)
助成事業	防災意識高揚と潜在区民掘り起こし	助成金額	126,000 円 (助成割合 62%)
	新興住宅地のアパート住民等を含めた地域連帯と防災意識向上のため、地域住民交流イベントを開催した。(助成 2 年目) 市職員との協働による「学校に泊まろう」に繋がった。		



団体名	石和町東油川区 (石和)	代表者	水上 良 (H20 年度区長)
助成事業	地区文化祭事業	助成金額	100,000 円 (助成割合 67%)
	地区文化祭を近隣地区にも呼びかけて開催した。(助成 2 年目) 近隣地区との交流により、新しい地域フレームへの契機になることを期待された。		



健康講和



音楽会



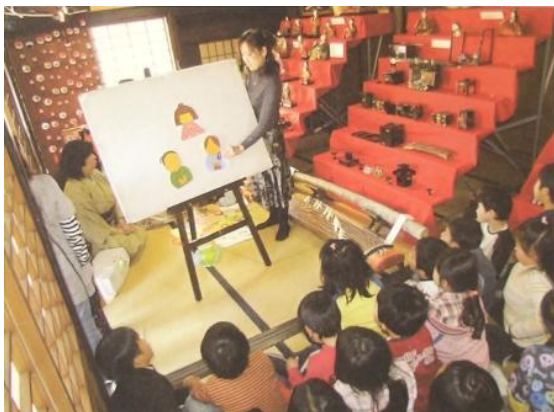
団体名	山梨岡神社舞子 (春日居)	代表者	鎮目恵丸
助成事業	太々神楽装束整備事業	助成金額	350,000 円 (助成割合 69%)
無形文化財の岡神社太々神楽の装束の老朽化に伴う、装束の購入を行なった。(助成 2 年目)			



団体名	石和ざぶとん亭実行委員会 (石和)	代表者	馬場憲一
助成事業	地域・世代間コミュニケーションともてなし育成のための石和ざぶとん亭寄席開催	助成金額	100,000 円 (助成割合 33%)
地域の交流と市外来訪者へのもてなしによる地域活性化のために、石和ざぶとん亭寄席を開催した。(助成 2 年目)			



団体名	鄙の会 (石和)	代表者	渡辺美保子
助成事業	歴史文化施設活用事業	助成金額	192,150 円 (助成割合 64%)
八田書院を活用し、ひな人形展示、端午の節句まつり、つるし雛講習などを開催し、施設来訪者が大幅に増加した。(助成 2 年目)			



つるし雛づくり



団体名	石和体協野球塾 (石和)	代表者	田中一満
助成事業	野球指導による青少年育成事業	助成金額	258,000円 (助成割合 38%)
少年団、中学校部活動を引退した児童の非行防止を目的に、独自に野球指導を実施した。使用備品等の購入経費等。(助成2年目)			



団体名	春日居ふれあい連絡会 (春日居)	代表者	市川友次郎
助成事業	春日居地域の防犯啓発事業	助成金額	50,000円 (小額助成上限)
春日居町駅前の放置自転車の撤去や防犯啓発看板の設置などを実施した。地域防犯に対する住民意識向上が、地域づくりへの共通テーマとなることに期待。			



放置自転車の撤去作業



団体名	親子ふれあい広場 (一宮)	代表者	永井誠覚
助成事業	親子共同参加による青少年活動事業	助成金額	325,000円 (助成割合 69%)
水谷修氏講演会の開催、親子で語るふるさとの歴史イベントの開催を行った。地域、家庭での青少年育成を考えるきっかけ作りの取組みを継続。			

富城市親子ふれあい広場発足記念行事

【夜間】水谷 修 講演会

『子どもたちの明日を語る』

2008年 4月3日(木)

○開場: 18:30  
○講演会: 19:00~20:30  
[定員400名]

会場: いちのみや校のふれあい文化館  
富城市一宮町東町2-1-1 <多目的ホール>

参加費: 無料 ※入場整理券が必要です。

◆講演プロフィール

◆参加申し込み方法

◆当日参加費

◆主催: 富城市親子ふれあい広場(市民活動団体)  
富城市民活動センター http://www5.plala.or.jp/furui  
協賛: 富城市・富城市教育委員会・富城市青少年育成推進協議会



地域の歴史を学ぶ

団体名	おはなしのへや もも (春日居)	代表者	馬場由美
助成事業	読み聞かせボランティア育成講座	助成金額	79,100 円 (助成割合 70%)
読み聞かせとストレッチによる子育てボランティアの育成講座を開催した。 ボランティア育成の継続的な実施が望まれる。			



団体名	NPO 法人学びの広場ふえふき (境川)	代表者	曽根修一
助成事業	地域学習と環境美化を推進する事業	助成金額	85,000 円 (助成割合 70%)
市民、家庭、学校が一緒になって地域を知り、環境美化に取り組むイベントを開催した。 テーマ連携による地域連帯や多団体連携への発展に期待。			



団体名	憲法の理解を広める会 FFU (石和)	代表者	山内幸雄
助成事業	笛吹市憲法の理解を広める事業	助成金額	161,000 円 (助成割合 70%)
身近なニュースを題材とした人権保障と憲法理解を進める学習会を実施した。 憲法学習を通じて、人権尊重を改めて考える機会の提供。			



作成した  
ニュースレター



団体名	笛吹市御坂国際交流協会 (御坂)	代表者	小澤 孝
助成事業	音楽を通じて国際交流を深める事業	助成金額	200,000 円 (助成割合 65%)
	国際交流を目的とした音楽イベントとして「中国古典芸能の夕べ」を開催した。 国際交流意識の市民への浸透に向けた啓発事業の継続。		



団体名	ボランティアグループ まっ黒駒 (御坂)	代表者	小林美和子
助成事業	地区・地域の慰問事業	助成金額	50,000 円 (小額助成上限)
	地域慰問ボランティア活動のための備品購入を行なった。 テーマ継続のための組織整備と地域連携の実現が課題。		



作成した小道具 (鍬、鎌)



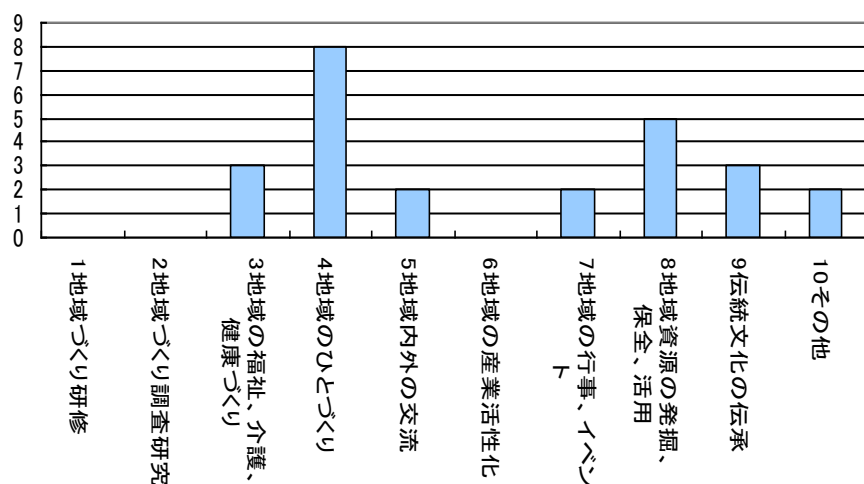
団体名	永井天神社神楽保存会 (八代)	代表者	斉藤康男
助成事業	永井天神社神楽装束の整備事業	助成金額	350,000 円 (助成割合 66%)
	伝承文化財の永井天神社神楽装束老朽化に伴う装束整備を行った。 伝承事業として保存事業もあわせた計画の第1年目。		



作成した装束 (烏帽子)



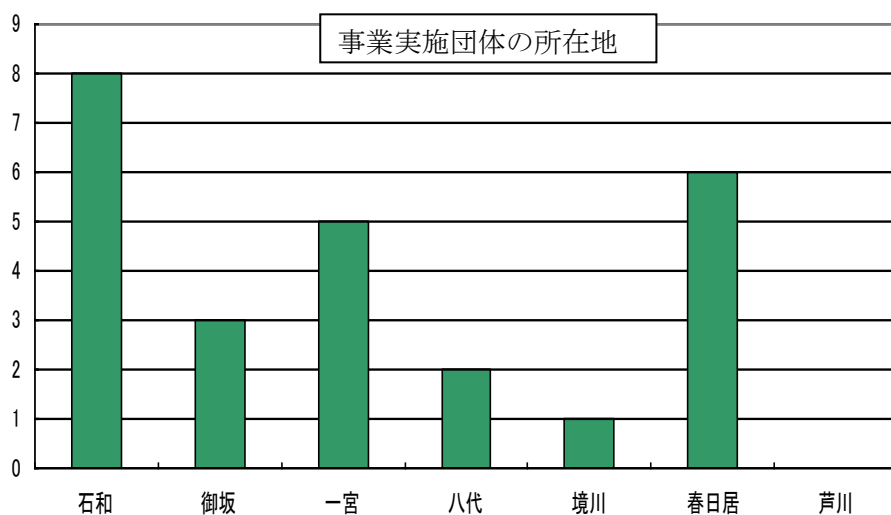
助成事業における対象事業区分



H20年度助成事業の対象事業 25 件をテーマに沿って見てみると、「地域のひとづくり」をテーマとした事業が多いことがわかります。

「地域資源」や「文化伝承」などと合わせて、地域に目を向けた取り組みがテーマになっていると言えます。

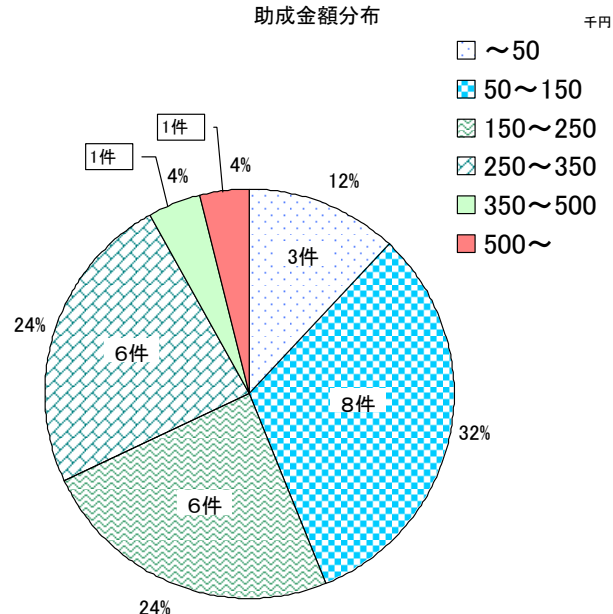
事業実施団体の所在地



地域別では、石和、春日居、一宮が多くなっています。

地域での様々な取り組みが結びつくことで、地域のより良い環境づくりを作るネットワークになると考えられます。

助成金額分布



助成事業は、テーマを持った事業そのものを対象としていますので、団体の活動費を助成するものではありません。

事業のテーマを実現するためには、継続して事業を行なうことにより、多くの市民の皆さんにご理解やご参加をいただくことが大切だと考えます。

事業実施に当たっては、市民への啓発や参加を促し、助成限度期間（3年）を過ぎた後も市民活動として自立した事業実施を行なえることが望まれます。



**【平成 22 年度】**

# 地域振興促進助成事業のご案内

笛吹市では、合併特例債等による地域振興基金の運用益を活用し、市民ボランティア団体、NPO法人などの市民活動への支援を行うと共に、地域づくりに取り組む市民活動を支援するため地域振興促進助成事業の募集を行っています。平成 22 年度の事業概要をご案内します。

## 「地域振興促進助成事業」

地域振興を目的に、市民団体の自発的、自主的な活動を支援するための助成事業です。

※ 募集事業は、同一事業の継続期限を 3 年間です。内容等詳細は以下のとおりです。

### (1) 対象事業

地域振興の促進を目的に各種団体が行う事業であって次の内容に該当するもの。ただし、神社、仏閣等宗教や政治団体等と関係する経費は除きます。

- ①地域づくりに関する研修、シンポジウム等の開催
- ②地域づくりに関する調査研究及び計画の策定
- ③地域の福祉、介護、健康づくりに資する事業
- ④地域のひとづくりに資する事業
- ⑤地域内外の交流に関する事業
- ⑥地域の産業活性化対策
- ⑦地域の行事・イベントの開催
- ⑧地域資源の発掘・保全・活用
- ⑨伝統文化の伝承等に関する事業
- ⑩その他、地域振興に資する事業

対象事業であって、助成を保障するものではありません。  
これらの事業を通じて、地域づくりの成果を引き出す取り組み（プロセス）が重要です。

### (2) 助成金額

○ 1 事業の助成限度額は、100 万円以内であること。

（ 対象事業費  $\geq$  対象経費（7/10 以下）  $\geq$  助成額：100 万円以内 ）

○ 助成事業費は、対象経費に対し次の割合で行う。

① 「対象経費が 5 万円以内のもの」 : 10 分の 10

② 「対象経費が 5 万円を超えるもの」 : 5 万円または 10 分の 7 以下

### (3) 助成要件

○ この助成事業は、団体への活動費助成（団体運営経費の助成）ではありません。対象事業に限られます。

○ 地域振興や地域づくりの効果が期待されないものは対象となりません。

○ 助成金がなければ継続できない事業は除外します。

○ 事業申請にあたっては、申請内容（プロセスや成果目標）の公表を行い、市民に周知します。

○ 事業実績の提出を義務付けるとともに、不適切な支出については返還もあり得ます。

○ 事業実績（実施内容）は、市民に公開します。

○ 実施内容を事業報告会等で発表してもらう予定です。

地域で生活していて、気になることがあるんだよね。  
自分達で、解決に向けた取り組みを始めてみようかな!

もっとこの地域をアピールするために、僕にもできる取り組みがあるんじゃないかな。

地域の産業活性のためには、こんなアイデアはどうだろうか! まず、自分達で始めてみようかな。

まずは、グループで話し合ってみよう。  
助成事業を活用できるかも!?



## 《応募、相談、申し込みについて》

1. 申し込みは、所定に様式により行ってください。
2. 募集の案内、申し込み様式等については、市民環境部市民活動支援課、各支所窓口にて用意しています。
3. [「よっちゃばるネット笛吹」](#)にも様式を掲載しています。

<https://opencity.jp/fuefuki/>



4. 応募された事業等について審査を行い決定した事業については、当該団体に連絡のうえ、改めて助成金の申請、請求手続きを行っていただきます。
5. 応募相談、受付（応募書類の受付）は、市民環境部市民活動支援課、各支所窓口の他、関係事業担当課で行いますので、ご相談ください。

### 《平成 22 年度の応募受付期間》

平成 22 年 1 月 12 日～平成 22 年 10 月 29 日

---

# NPO・市民活動団体を紹介します。

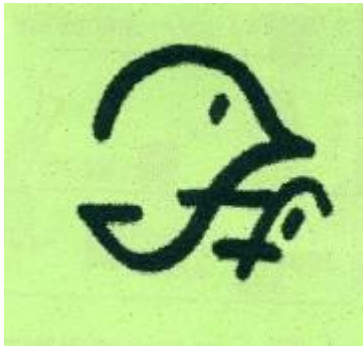
---

笛吹市内で活動する市民活動団体をご紹介します。

ここでは、地域社会に貢献する活動を行なっている団体（NPO法人やボランティア団体、社会貢献、地域貢献をテーマに取り組んでいるグループ）を「市民活動団体」とします。

地域で活動する市民団体には、趣味やスポーツにより集まったグループも多いと思います。自分達の楽しみや満足を手に入れることも、私たちがいきいきと暮らしていくためにはとても大切なことだと思います。でも、そのグループがみんな地域課題に取り組んでみようとか、社会への貢献をテーマにして行動することができたら、それは市民活動として考えてもよいのではないのでしょうか。





# NPO法人笛吹市障がい者を支える会 ありがとう

今年3月にNPO法人認証を取得しました。

「笛吹市障害児者家族会」は、「NPO法人笛吹市障がい者を支える会  
ありがとう」になりました。

私たち家族の思い“障害を持つ人たちが地域で健やかに育ち、学び、  
成人して幸せに暮らすこと”、そんな思いを共有する多くの市民（一般市民）とともに活動を進めて生きていきたいと思っています。

## 【活動紹介（一部）】

- ありがとうコミュニティひろば  
毎週金曜日 午前10時  
会場 支援センターふえふき
- 土曜学校  
毎月1回 土曜日 10時～15時  
内容 子ども達の余暇活動支援



※お問合せは、「よっちゃんばるネット笛吹」内の「ありがとう」ホームページをご覧ください。

## 笛吹市職員市民活動支援サークル らふらふ

笛吹市職員の自発的なボランティアサークルです。

市内の市民活動に関するイベント企画や実施への支援、協力を行ないます。

「地域を知ること」「地域の人のお話を聞くこと」「サークルができる貢献を考える」をテーマに活動を開始しました。

市民活動団体の皆様が行なう事業や企画へのお手伝いを行ないます。

「行政職員の知恵」や「若者？よそ者の視点」から、企画実現へのプロセスに参加させていただければと思います。ぜひ、お声かけください。



# 一緒に考え、行動します!!

※お問合せは、「よっちゃんばるネット笛吹」内の「らふらふ」ホームページをご覧ください。

# 「よっちゃばるネット笛吹」

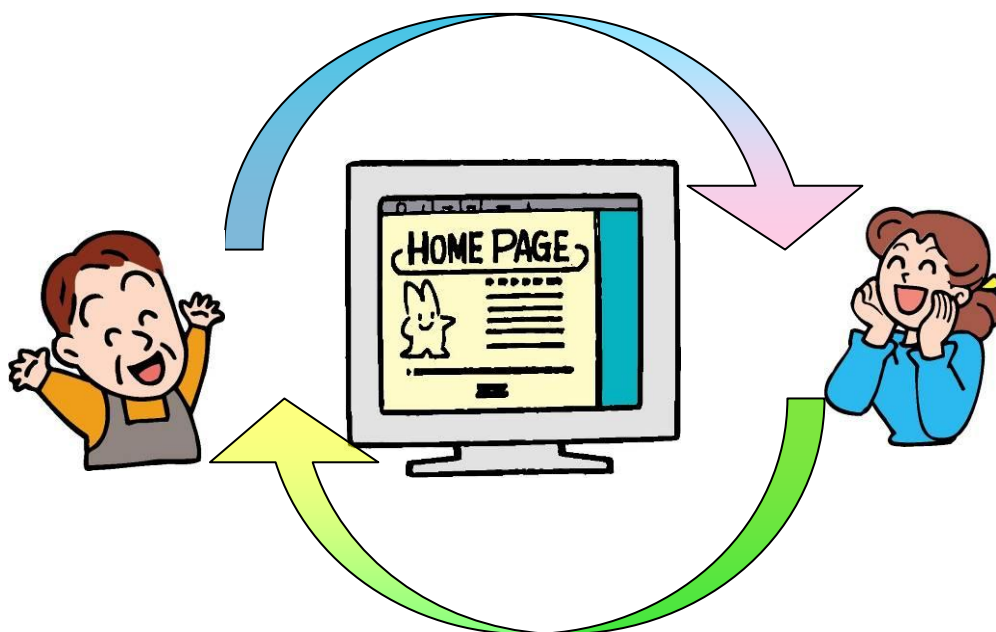
## サイトユーザ登録のご案内!!

市民活動、地域づくりを支援するポータルサイトを運用中です。

ユーザ登録から、グループのホームページを立ち上げることができます。

グループでの活動を整理し、市民への情報発信をするだけでなく、団体会員募集や登録会員同士の連絡に使うことができます。

皆さんの市民活動を活性化するためのツールとして、是非活用してください。



サイト閲覧・ユーザ登録はこちら

<https://opencity.jp/fuefuki/>

Google検索から「よっちゃばる」でヒットします。

QRコード



携帯用コンテンツのQRコードです。

携帯からのサイト閲覧はこちら

<https://opencity.jp/fuefuki/mobile/>

お問合せは、笛吹市 市民活動支援課 市民活動支援担当

TEL 055-262-4138 e-mail : shiminkatsudoh@city.fuefuki.lg.jp